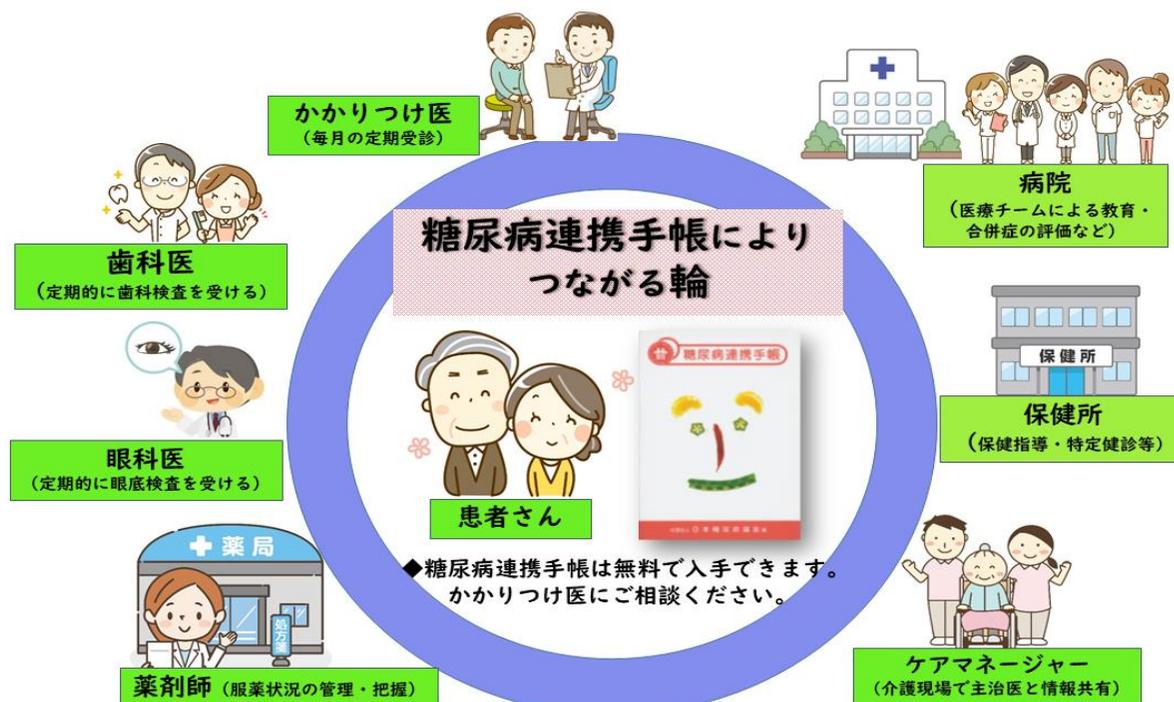


糖尿病連携手帳について

- 調査期間 令和3年2月1日～令和3年2月12日
- 調査の趣旨 和歌山市では「糖尿病連携手帳」を活用した糖尿病重症化予防を目指しています。アンケートの結果については、多職種連携医による糖尿病重症化予防事業の評価として使用します。糖尿病連携手帳について、皆様のご意見をお聞きます。
- 対象者数 827 人(令和3年2月1日現在)
- 回答者数 640 人
- 回答率 77.4 %

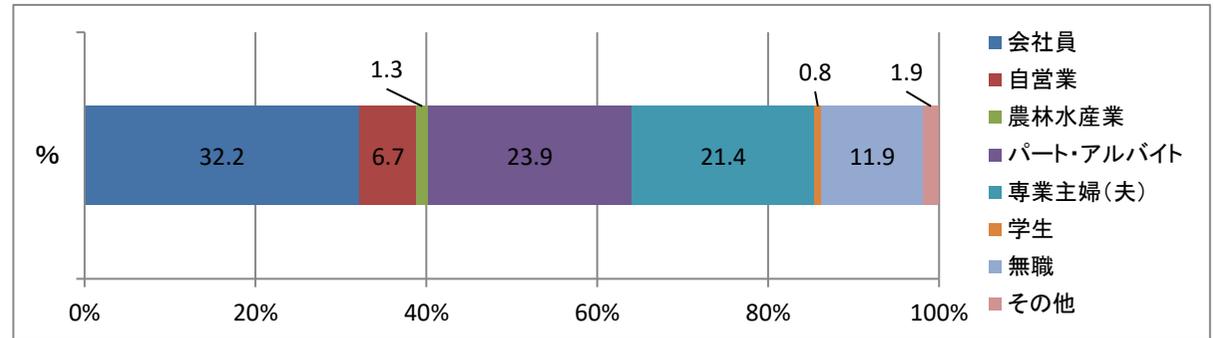
(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)



※図：和歌山市保健所地域保健課作成

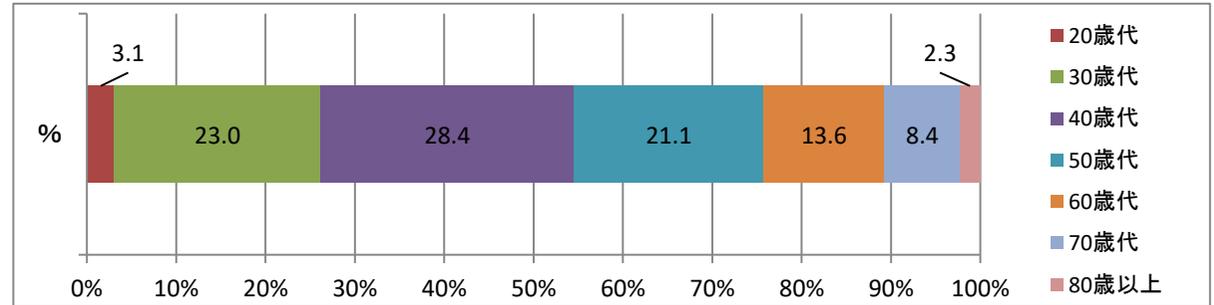
【職業】

内訳	人数	%
会社員	206	32.2
自営業	43	6.7
農林水産業	8	1.3
パート・アルバイト	153	23.9
専業主婦(夫)	137	21.4
学生	5	0.8
無職	76	11.9
その他	12	1.9
合計	640	100.1



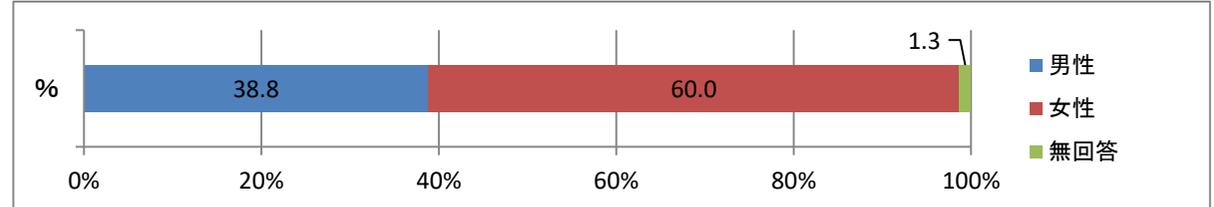
【年齢】

内訳	人数	%
20歳代	20	3.1
30歳代	147	23.0
40歳代	182	28.4
50歳代	135	21.1
60歳代	87	13.6
70歳代	54	8.4
80歳以上	15	2.3
合計	640	99.9



【性別】

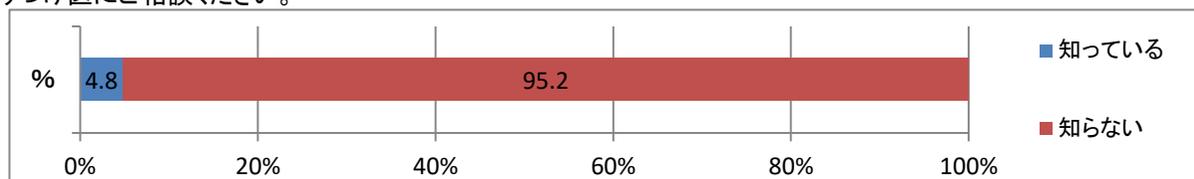
内訳	人数	%
男性	248	38.8
女性	384	60.0
無回答	8	1.3
合計	640	100.1



【問1】 糖尿病連携手帳を知っていますか？

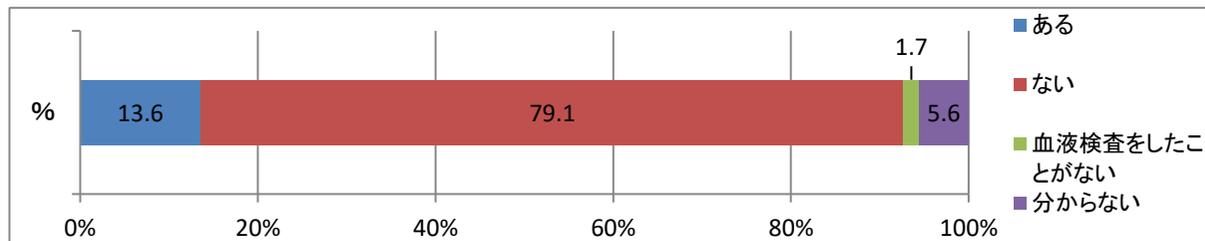
※糖尿病連携手帳とは、公益社団法人日本糖尿病協会が発行しており、毎月の検査結果や歯科・眼科などの検査の記録等が記録できる手帳です。ご自身の自己管理に活用でき、複数の医療機関を受診するときの情報共有が可能となります。必要な方はかかりつけ医にご相談ください。

内訳	人数	%
知っている	31	4.8
知らない	609	95.2
合計	640	100.0



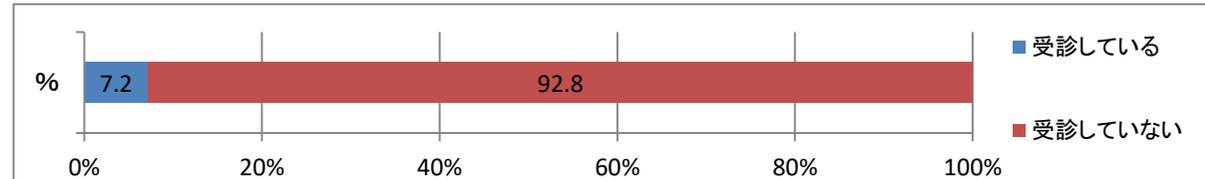
【問2】 血糖値が高いと言われたことがありますか？

内訳	人数	%
ある	87	13.6
ない	506	79.1
血液検査をしたことがない	11	1.7
分からない	36	5.6
合計	640	100.0



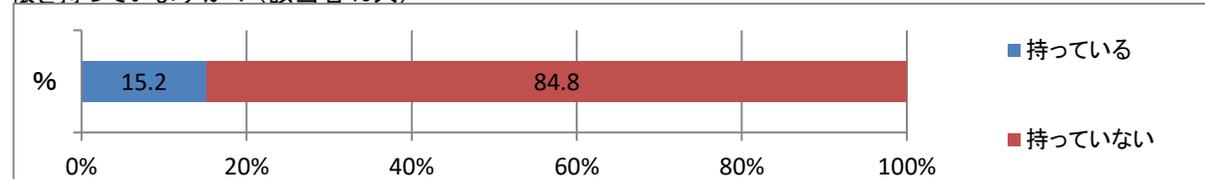
【問3】 糖尿病でかかりつけ医へ受診していますか？

内訳	人数	%
受診している	46	7.2
受診していない	594	92.8
合計	640	100.0



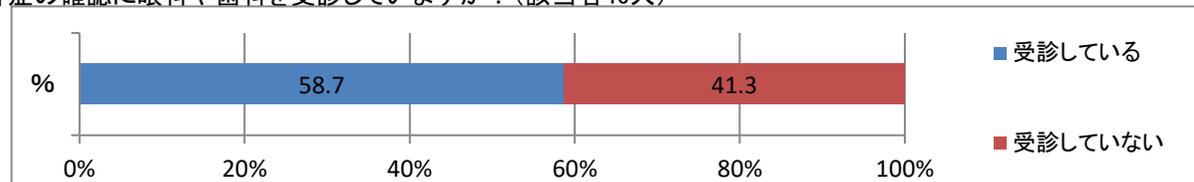
【問3-1】 問3で「受診している」と回答された方にお聞きします。糖尿病連携手帳を持っていますか？（該当者46人）

内訳	人数	%
持っている	7	15.2
持っていない	39	84.8
合計	46	100.0



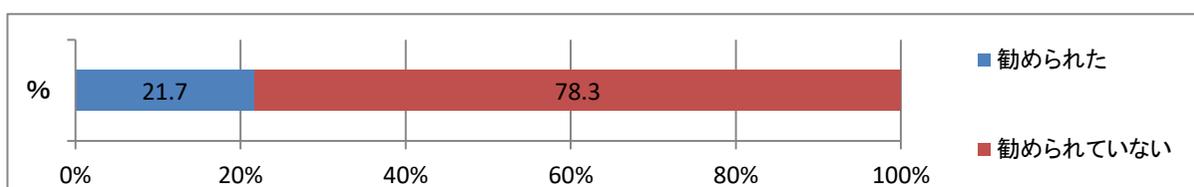
【問3-2】 問3で「受診している」と回答された方にお聞きします。糖尿病の合併症の確認に眼科や歯科を受診していますか？（該当者46人）

内訳	人数	%
受診している	27	58.7
受診していない	19	41.3
合計	46	100.0



【問3-3】 問3で「受診している」と回答された方にお聞きします。かかりつけ医や眼科、歯科、薬局などの医療関係者から重症化予防のためにも他の科にも受診するように勧められたことがありますか？（該当者46人）

内訳	人数	%
勧められた	10	21.7
勧められていない	36	78.3
合計	46	100.0



【問4】 糖尿病連携手帳に関するご意見などありましたら、ご記入ください。（任意）

- もっと認知度を高めることが大切だと思います。
- 情報がないので分からない。
- 手帳の存在を知らなかった。もっと情宣された方が良いと思います。
- その手帳を見たことがない。医療機関で受付していたが、持ってきた人は今までいませんでした。
- このアンケートに回答するまで「糖尿病連携手帳」という語句さえ知らなかった。どこでどうすれば知ることができたのだろうか？
- 県外在住ですが、週1回和歌山市内の基幹病院の内科系診療科（糖尿病内科ではないです）で非常勤で診療をしています。糖尿病を合併されている患者さんも多くいますが、この手帳は見たことがありません。診療科、職種を超え活用でき、有機的な診療内容の向上につながると思います。和歌山は開業医が多く、1人の患者さんが別々の疾患で複数のクリニックを受診（クリニック毎に薬局も異なることが多い）していることが多く、お薬手帳のようにこういう手帳を活用すべき環境と思うのですが、まだそのような状況ではないように思います。県外の医師から見て施設の異なる医師間で紹介時以外の連絡の取り合いが乏しく（こちらから問い合わせても返信がないなど）、こういう簡便なツールを用いることも定着しがたいのではないかと考えてしまいます。
- 糖尿病連携手帳は初めて知りました。和歌山独自？国？糖尿病は国民病とも言われ、他の合併症をも引き起こす怖い病気です。コロナ感染の重篤化にもつながると言われています。糖尿病予備軍も多いとか。予防のためにも広くPRしてほしいと思います。
- 糖尿病連携手帳という名前は分かりやすいですが、実際に糖尿病の方で病名を隠したい人にとったら、この手帳を持ち歩いたり活用しにくいことはないのでしょうか。
- このポスターは見たことある気がします。
- 私は重度の糖尿病であり、合併症のため右足切断し、現在も通院していますが、糖尿病連携手帳なるものは見たことも聞いたこともありません。一体どういう目的で、どのような機関が発行するものなのか？不審に思います。絶えず糖尿病専門医に診察指導を受けているのに、これに対する情報がまったくないのは奇怪に思います。おそらく健康増進のために新たに作られたものなのでしょうが、既存のおくすり手帳や身体障害者手帳で間に合わないものなのか？和歌山県には数名しかいない糖尿病専門医や、私のような糖尿病患者からの意見意向とはまったく関係ないところで進められていることに、輕輕に行政が関与することはやめてほしいと強く思います。慎重に、かつ情報共有して、医療機関や患者との連携を取って進めていただきたいと希望します。
- すごくいいと思います。
- いろんな手帳出来るのはいいけど、高齢者には管理画面課題もう少し一元化も考えて。
- この手帳のことは今回のアンケートで初めて知りました。もっと周知活用を促した方がいいと思います。
- 初めて知った。知ってる人どれぐらいいるのだろうか？

- 何事もですが、市民に認識出来ていない事が多いと思います。この手帳でも開業医を含め、全ての病院で目につく所に置いておくとかすれば広く行き渡ると思います。
- もし糖尿になればどこで手帳頂けますか？
- 高脂血症バージョンがあるといいなと思った。
- もっと知名度あげる工夫が必要かと思ひます。せつかくの良取組み・手帳が、糖尿病に留意すべき国民に浸透していないように思ひます。
- 血糖値などに異常がないためあまり関心がありませんが、健康には人一倍気を使っています。
- 病院等に定期的に通院していても知らなかったです。
- お薬手帳に似ている。
- 泌尿器科(膀胱)で術後検診に通院中、糖尿病とまではいかないが「血糖値がやや高い116で予備軍やな」と言われたことがあり、現在も半年に1度検診のおり血糖値も測ってもらっています。
- サイズが大きい、おくすり手帳と同じサイズなら持ち歩きやすい。
- 各所別々の記録がまとめて管理できるんですね。
- 存在自体を知らない。
- 手帳がスマホなどデジタル化できればと思ひます。
- かかりつけ医にご相談、無料で入手できるとかにするのではなく、最初なりに医者が渡す。持っていますか？など聞いて配布していかないと浸透しないのではと思ひます。
- 入手したい。
- お薬手帳もですが、紙媒体とWEB媒体のどちらかを選べるようにお願いしたいです。
- お薬手帳と一緒にできないものかと思ひました。
- すごく素晴らしいシステムだと思ひました。この様なシステムに公費を費やすのは良い事だと思ひます。
- 糖尿病連携手帳の表紙のデザインがセンスがないと思う。
- 手帳だと忘れたりあるので、携帯アプリと連携できたら便利なのは。
- 家族が糖尿病ですが、見たことがありませんでした。
- 家族側の注意事項やフォローアイデアなど。
- 早めの予防に繋がれば良い。
- まったく知りませんでした。病院とかでもポスター等で知らせしてほしいなと思ひました。
- 良い手帳だと思ひます。もし自分が 糖尿 病になってしまったら、ぜひ持ち歩いて活用したいです。
- 将来は糖尿病に限定せず、基礎疾患についての情報共有のためにマイナンバーカードの利用促進をお願いしたい(病院でマイナンバーカードを保険証として利用するのに伴い基礎疾患についても各種の病院と情報共有できれば患者にとって便利)。
- どんな内容なのか興味があります。
- 家族が血糖値が高いと言われています。一度手にとって読んでみたいですね。
- 知らなかった。
- 知りませんでした。
- もっとアピールすればよいと思う。
- 糖尿病連携手帳(自分が糖尿病にはなっていないので知りませんでした)。糖尿病と一度病名が付けば、他の病気にかかっても処置の方法が違ってくる為、連携手帳をもっていれば、再検査も受けなくても良い場合もあり、便利だと思ひます。
- 糖尿病の方は血液が凝固しやすいので、コロナにかかると血栓ができやすく、コロナに気を付けてください。
- 知らなかったです。糖尿病の人にはとても助かると思ひます。
- そのような手帳があるのを教えて頂いたので、なんとか入手しようと思ひます。
- 家族が糖尿病なので参考にしたいと思ひます。
- 自分は糖尿病ではありませんが、50代にもなると周りに患っている人が結構います。運動がいいとか食事に気をつけるとか聞きますが、本当に病気に効くのかよくわからないようです。このような手帳に詳しく書いてあるのなら活用できると良いと思ひます。まだ糖尿病になっていなくても、予防の意味で健康に過ごせるのなら予備軍の人にも配布すべきだし、私も持病の診察時に欲しいです。

- 難病指定の病気もそのような手帳があると助かると思う。
- 存在については、全く知りませんでした。デザインが印象的。
- 初めて知りましたが、良い試みだと思いました。
- 今まで医者に言われたことがない。
- 肉親が糖尿病予備軍なので、取り組みに興味があります。
- 手帳の存在を初めて知りました。
- とてもいい取り組みだと思います。
- 有れば便利だと思います。
- 糖尿病の人が出かけている時に倒れたら、かかりつけ医などから情報を得たりすることができるので、手帳を持つのはいいことだと思う。
- 薬局での「お薬手帳」で、糖尿病連携手帳の役割を果たしています。
- 初めて見ました。昨年も医院に全くかからなかったのですが、医院にポスターなどあったりするのでしょうか。連携が取れるのはとても良いと思います。
- 手帳の存在を知らなかった。どういものか調べ、メリットがあれば周りに教えてあげたい。
- はじめて見ました。
- 糖尿だけでなく、腎臓病も作ってほしい。
- 医療関係の仕事をしていますが、この手帳の存在も知らなかったし、持ってる人を見たこともないです。病院やクリニックにもどんどん名前を売って、普及していけばいいなと思います。
- 堺市在住の母が糖尿病なので、このような手帳がとても役立っています。
- 母がインスリン投与してるレベルの重症患者なので、通院時に毎回手帳を頂けたらありがたいです。毎日血糖値をメモしているので。
- あることも知らなかった。
- 年齢が高くなるとともに、いつ糖尿病にかかるか不安を感じている。このような手帳があることは知らなかったし、定期的に心臓の検査に行く医者からも知らされていない。この際手に入れたかったと思った。
- このような手帳があることを初めて知りました。複数の医院の情報を1冊にまとめて共有できるのはいいですね。早速血糖値が高いと言われている父にも伝えたいです。マイナンバーを医療にも活用できるといいですよ。
- 糖尿病連帯手帳は医療の情報共有という点は素晴らしいと思います。ただ、きちんと自己管理が出来る方には有効と思います。
- お薬手帳同様、分かりやすくいいと思います。
- 保険証のマイナンバーカード化、一緒にこの手帳も一緒になればと思います。
- 手帳自体は有用だと思う。色々手帳を持つのも煩わしいので、マイナンバーカードと連携やアプリで管理できたら良い。
- 初めて知りました。勉強します。
- マイナンバーカードに踏襲するほうが利便性が高まるのでは。
- 特にいらないのでは。
- 初めて聞きました。何処で貰えるんですか？現在、薬を飲んでいます。
- 全く知らなかった。「手帳」とつくため、障がい者手帳のように申請、受診、認定などの手続きが必要なのかなと思いました。お薬手帳のようなイメージなのでしょう。制度としては、多岐の症状に及ぶ病気のため受診科目も増えてくるので、家族も共有できる形で残せるのはすごくいいと思います。ただ、名前が「手帳」ばかりでは高齢の方には解りづらいのでは？
- 薬手帳に加えて、別の手帳を持つことに疑問がある。紙での管理ではなく、希望者向けには特定サイトでの電子管理ができるようにしてほしい。
- 糖尿病家系だと思うので、自身で気にはしています。知らなかったことなので、勉強になりました。
- 本当に持っていて、活用できる内容であることを期待します。ほかにも自身が何かの病気になった場合も利用できる手帳の種類がいろいろあればいいなと思います。
- 糖尿病の詳細が分からない。
- 糖尿病の検査方法を知りたい。
- 一番気をつけないといけない病気だよ。手帳1つで色々な機能連帯があるのはいいですね。アプリも色々あるしね。生活習慣病は色々な関連性があるから食生活から改善が必要ですね。それが予防にもなる。
- 中身を確認していないのですが、この名前だと糖尿病に特化した手帳と思うので、糖尿病以外の方が健康管理に活用するのは少し抵抗感があるように感じます。

- 糖尿病は他の色々な症状や病気に関わるので、連携は良いと思います。外出先などで急な他の症状が出た時、救急車で運ばれた時など、連携は役に立つと思います。また本人は糖尿病が何らかの関わりが分かっていないまま、又認知症で忘れた時など、他の症状で受診した時に連携していればすぐ分かって良いと思います。末は命を救うことに繋がると思います。
- 夫は糖尿の専門医にかかっているが、自己節制ができているのと主治医自身が一型糖尿病なので親身になってくれるので心強い。ただ、手帳の事は当人も知らないとの事。次回、診察の折に尋ねるように勧めてみようと思う。
- 内容をもう少し詳しく知りたい。
- 糖尿病ではないし、今のところ縁遠いものなので関心ありません。
- 糖尿病の合併症で困っている方が多いです。皆がつながっていい勉強ができるといいと思います。
- 知らない。何処がこのようなものを作っているかさえ知らない。薬手帳で十分です。携帯不要。
- 夫が血糖値が境界型ですので、食事には気を付けています。糖尿病連携手帳の事も聞いてみます。
- 医療の無駄を少なくするためにはいいと思います。
- まだまだ周知されるには至っていないと思いますが、良い取り組みです。
- 便利だと思います。
- 初めて知りました。
- 手帳に関心があります。回覧板等で案内してほしいです。
- 食べ物の好き嫌いが多いので、一度病院へ行こうと思いました。
- 糖尿病連携手帳あるの、今回初めて知りました。この手帳、病の重症化予防としてとあるが、それより以前に、糖尿病発症する以前の生活習慣並びに、自己管理対策のマニュアルも必要かと自身考えますが。
- 糖尿病連帯手帳という名前をどうにかしてほしい。貰ったら一生治らないとかマイナスイメージ。
- 糖尿病は管理が重要とのことなので手帳は良いツールだと思います。
- 母が長年糖尿病で苦しんで、合併症の併発などを起こし、本人の人生が闘病生活中心になってしまった。1型2型で対応は異なるし、一概には言えないが、こうした手帳が存在していることを広報していただき、必要としている人へ届けて有効活用し、患者本人をはじめ家族も病気に対する知識や認識をもつことで、少しでも長く楽に病気とつきあえるような手助けになれば願っている。
- 糖尿病だけじゃないので、持病手帳でいいと思う。
- はじめて知りましたが、万が一糖尿病になったときには利用したいと思います。
- 糖尿病は怖い。連携手帳は役立つと思う。
- 手帳のことは医者も知らないのではないのでしょうか。
- 色々な所と連携しているのは便利だと思います。
- もっと情報提供願います。
- 血液検査の結果いつも糖尿の一步手前と言われていました。手帳を是非持ちたいと思います。ちなみに今中性脂肪の薬を服用しています。糖尿病は怖いです。
- 父が糖尿病で、当時糖尿病の知識がとぼしかった事を悔やんでいました。いろんな方法で糖尿病の予防法が広まるといいと思います。
- お薬手帳で充分な気がします。それより、糖尿病の公益社団法人の存在に驚きました。
- 初めて知りました。調べてみます。もっと広報活動が必要ではないですか？
- とてもいい事だと思います。手帳がある事で直ぐその方の状態もわかり、本人が説明しなくても手帳を見ればわかるとすれば大変良いと思います。有難いですね。
- 知らなかったの、次の診察の時に聞いてみる。
- 手帳の存在すら知らない人が沢山いるのではないのでしょうか。以前、私も糖尿病の意見交換会に出席して、初めて知った次第です。担当医からのお勧めがベターだと思います。
- もっと行政が、市民へ伝播してほしい。
- 連携手帳のPRが全くできていない。
- 広く使われて有効活用されるようになればいいと思います。

- 亡くなった祖母が入院していた部屋に、糖尿病になって目が見えなくなったり足を悪くしてベッドでほとんど寝ている人がいましたが、私もそうなったら怖いなど思っていました。その私も、この前医者に糖尿病だと言われ、薬を飲むことになり、私もこのまま行くと前述した患者みたいになるかも知れないと思うと、ちょっとショックです。糖尿病連携手帳があるとか眼科や歯科を受診する必要があるのは知らなかった。(他の病気などの場合も含めて)医者が説明する余裕が無いなら、看護師か受付の人・薬剤師でもいいから、その説明するか手帳・病気や治療方法などについて説明したチラシなどを配布するようにしてもらいたい。それから、糖尿病連携手帳のデザイン(野菜を使った顔)の狙いがよくわかりません(・印象が弱い)ので、パッと見て糖尿病患者だとわかりやすいデザインにした方がいいのでは？
- 重症化予防と共に、発症予防の取り組みも大切と思います。
- うちの母は抗がん剤治療中に糖尿病になり、抗がん剤の影響で糖尿病が悪化しましたが、主治医が血糖値が高いのは抗がん剤の影響と数値しか見ず症状を見過ごし、体重が20キロ近く減った状態になってようやく糖尿病に気がきました(別の医師が)。血糖値の上昇も、体重の減少も癌のせいだと思い込み、患者の声に耳を傾けなかったせいです。その後、母は亡くなりました。医師ですら症状を見過ごすのに、こんな手帳で本当に糖尿病の重症化を防げるのでしょうか？もう少し方法を考えた方が良いと思います。
- お薬手帳もアプリ管理は難しいですか？
- 気をつけたい病気のひとつなので、認知度を高めてほしいです。
- 取り組みを見たが、非常に有用だと感じました。
- 今初めて見ましたし知りました。この手帳が糖尿病の患者さん以外に必要なかわからない。
- あまり知られていないような気がします。手帳も大事ですが、それよりも糖尿病なのに自覚していない人が多いと思います。血液検査等をもっと気軽に受けれるように推進していくことが重要かと思います。
- 眼科、歯科の定期健診も記入しており大変参考にしている。
- 紙媒体であると、受診時に持って行く事を忘れてたり、紛失など、情報が抜け落ちる可能性も考えられる。オンライン上で管理し、県外での受診でも情報共有できるネットワークを全国でできたらいと思います。マイナンバーに紐付けるなどの方向で進んでいく事を鑑みて、オンラインに馴染みがない高齢者も取り扱える様、診察券に情報を加えていける様な仕組みを和歌山県内で作るなど、進めてみてはどうだろうか？歯科で歯型の記録があれば、身元の照合ができたり、他の病院に転院する際の情報提供などがスムーズにできるなど、糖尿病の枠を超えて医療の連携は必要になると思います。
- 血糖が少し高いので、自主的にたまに食前血糖を測り記録してかかりつけ医に診てもらっています。この手帳は大変良いですね。勉強になります。
- 初めて知りました。とても良いと思います。ただ医療機関を受診する時、お薬手帳と糖尿病連携手帳両方を持つと嵩張りますね。良い方法はないのでしょうか。
- 糖尿病だけでなく、寛解・治癒まで時間の掛かる病気の人用にもこのような手帳があればとても助かります(私はパセドウ病です)。ぜひご一考ください。
- 私は持ちたい・ととってもいいと思うけど、基本的には「お薬手帳」みたいなものなのね。あれみたいに、何らかの形で保険診療の報酬とリンクしないと普及は難しそうですね。

この度は、アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

皆さまからいただきました貴重なご意見・ご回答は、多職種連携による糖尿病重症化予防事業の評価の参考にさせていただきます。

今後とも糖尿病重症化予防に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆さまのご理解とご協力いただきますようお願いいたします。